

法人の役員改選がされました

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第146号

発行2021.7.18

年4回発行



社会福祉法人そよかぜ

羽村市栄町3-3-1

☎042-578-0855

fax.042-578-0466

そよかぜだより

法人の役員改選がされました



写真上段左から、田口理事、田村理事、羽村理事、根岸理事。写真下段左から、羽村監事、加藤理事長、井上副理事長、雨倉監事。

理事長

加藤照夫

副理事長

井上克巳

理事

田村義明

田口尚子

羽村富男

根岸 徹

監事

羽村義男

雨倉久行

評議員

川津紘順

橋本唯隆

水上京子

川村孝俊

下田忠男

栗原悦男

田村志津子

小林あや子

評議員選任・解任委員会

石田 茂

市川康浩

羽村義男

雨倉久行

野口晋一

今年度は社会福祉法人そよかぜ役員等の改選期にあたりました。令和3年6月29日に開催されました当法人定時評議員会において理事・監事改選の承認がされ、翌30日新たな理事会体制が発足いたしました。理事長には引き続き加藤理事長が再任、副理事長には井上氏が引き続き担当されることとなり、各役員の方々ににつきましては役員名簿各職の諸氏の通りとなりました。

加藤理事長から就任に当たっての言葉といたしまして、本法人の主要責務として障害者就労支援・生活

相談支援活動を主とした地域障害者福祉施設の中心的役割を果たしていくために、これまで培われてきた多くの実績を礎に、将来にわたっての法人経営の安定化や施設の合理的管理と効率化を図っていくこと。また、施設運営の多角的方向性を見据えながら、施設利用者の就労支援環境の向上や身の回りなど生活支援の相談等を含めた取り組みがひばり園、スマイル工房、くれよん、エールや、ゆいにおいてそれぞれの特色を表現しながら進められていくことを大切にしていきたい考えを示されました。

社会福祉法人そよかぜ

令和2年度 事業実績概要報告

本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の災禍により、世界中が甚大な被害を受けるという大変な一年となりました。世の中の様相がまさに一変する事態の中で、当法人の各事業では、感染防止対策や新しい生活様式による新しい日常が否応なく求められました。すべてが初めての経験であり、国や東京都からの行政通知や羽村市障害福祉課などの関係諸機関との協力連携をたよりに、一日一日を無事に過ごせるよう法人をあげて対策に努めてまいりました。そのような地道な努力が功を奏し、そよかぜでは各事業所ともにクラスター発生などの感染被害もなく、利用者支援サービスの提供を継続することができました。

しかしながら、福祉作業所ひばり園や福祉作業所スマイル工房の就労支援事業である作業活動では、感染防止対策をはじめ、作業活動全般に多大な影響を受けました。利用者支援においても利用者の方々が楽しみにしていた行事やレクリエーションなども軒並み中止にせざるを得ないこととなり、このような困難な状況は年度を通して続きました。また、緊急事態宣言が発出され、一部の企業では余儀なく休業やリモートワーク

などをせざるを得ない状況となりました。小学校等の休校などで職員体制も厳しい状況でしたが、障害福祉事業は休業することが出来ない背景もありました。当法人で大過なかったことは、利用者やそのご家族及び職員の一人ひとりが新型コロナウイルス感染予防に配慮されたことも大きいところです。

社会福祉事業

福祉作業所ひばり園 (就労移行支援=定員6名)

ハローワークと連携し実習先企業の新規開拓に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により見学や体験実習の受け入れに慎重になる企業も多く、実習先の拡大には至りませんでした。しかし日々の就労訓練や作業実習等を経て、本年度は3名が希望する企業に就職することができました。

福祉作業所ひばり園 (就労継続支援B型=定員70名)

コロナ禍の影響により主力の自動車部品加工作業の受注量は上半期減、下半期増と大きな変動がありました。全体の収入額では前年度比約11%減となりました。農業機械部品個装作業は概ね前年度並みの受注量が確保できました。施設外就労は先方企業の

令和2年度 社会福祉法人そよかぜ決算額

法人全体 事業別収入 257,605,392円

(単位:円)

福祉作業所ひばり園 (本部・就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援) 180,757,244	指定特定相談支援事業所ゆい3,926,242	羽村市障害者就労支援センターエール22,466,237	福祉作業所スマイル工房48,021,061	資源回収2,434,608
---	------------------------	-----------------------------	-----------------------	---------------

法人全体 事業収入別明細 257,605,392円

(単位:円)

就労支援事業 32,962,271	←寄付金収入375,132	←借入金利息補助金収入185,448	←補助金収入(給付費含む)217,946,372	資源回収売上2,431,242	受取利息・その他収入2,341,927	積立資産取崩収入1,363,000
----------------------	---------------	--------------------	--------------------------	-----------------	---------------------	-------------------

法人全体 事業支出別明細 253,127,522円

(単位:円)

就労支援事業 33,199,074	←支払利息支出197,036	←その他の支出5,180	←設備資金借入金元金償還支出852,000	←人件費154,507,732	事業費7,835,726	事務費18,954,872	固定資産取得支出110,000	積立資産支出 37,465,902
----------------------	----------------	--------------	-----------------------	-----------------	--------------	---------------	-----------------	----------------------

方針で4月から9月まで休止となりました。リサイクルショップくれよんも4月から6月まで休業(一部マスク等販売継続)しました。その他、羽村市指定ゴミ袋パッケージ作業など、概ね順調な作業活動ができました。

福祉作業所ひばり園(就労定着支援)

就労移行支援利用を経て一般就労した方に対して、職場定着支援を行いました。コロナ禍の中、来所支援や職場訪問支援は大幅に制限されました。延利用者数は91名で、来所による支援104件、職場訪問支援58件、その他、電話等相談や通院同行など75件となりました。

福祉作業所スマイル工房(就労継続支援B型=定員40名)

コロナ禍の影響を受け、軽作業の受託企業において受注停止がありました。また、パン・菓子類製造では、卸売り先の営業自粛や時短営業、福祉まつり、子どもフェスティバルなどの催しの中止、喫茶(スマイルカフェ)の営業自粛や時短営業による店舗売上の減収など、授産活動全般に厳しい一年となりました。そうした中、市内業者との協働で羽村市ふるさと納税返礼品の考案や、新規販売先の開拓(4件)にも取り組みました。

指定特定相談支援事業所ゆい(利用契約者数100名)

コロナ禍により、本来は対面にて行われるサービス担当者会議や利用者聞き取りなども、可能な限り接触を避ける形式(電話やメールの活用等)での実施となりまし

た。施設サービス利用者並びに利用希望者を対象に、サービス等利用計画(案)91件、サービス等利用計画93件、モニタリング報告書169件の作成などを行いました。また、事務作業の軽減を目的としたパソコン業務システムの改善を行い作業効率向上に努めました。

公益事業

羽村市障害者就労支援センター エール(利用登録者147名)

利用登録者147名の内、既就職者は107名(内本年度新規就職者13名)となっています。例年羽村市役所内で行われる庁舎内実習は全3回実施され、本年度は各回の実習を2カ月間にわたりそれぞれ2回に分け、当月の課題を翌月に取り組めるよう工夫しました。また、最終日には参加者との振り返り面談を行い、改めて実習目標と成果が今後につながるよう内容検討を行い、実習のさらなる充実を図りました。

収益事業

資源回収

本年度も地域の皆様のご協力により、回収量は前年度並みを確保できました。しかし古紙引き取り単価は低迷傾向が続いており業績は厳しいものになりました。福祉作業所ひばり園の利用者を対象とした施設外支援(回収作業補助)受入は、前年度並みの延べ1,200人となりました。

羽村市障害者就労支援センター エール オンライン会議システムの導入

「変化の波は思わぬところから」

新型コロナウイルスにより社会では様々な変化をもたらしました。例えば働き方を挙げてみると、これまでは会社へ出向いて仕事をするのが一般的でした。皆様もご存知の通り、徐々にリモートワークやオンライン等へと移り変わっています。

当センターでのオンライン化は遙か未来のことだろうと感じていましたが、変化の波は思わぬところから舞い込んで来ました。定期面談を行っている企業より、オンラインでの面談を提案されたのがきっかけです。その企業は都内の会社でしたので、訪問時のリスクを考えるとありがたい話でもありました。

同じ頃に多摩地域の就労支援機関連絡会では、コ

ロナ禍により連絡会の中止や延期が余儀なくされていたことから、オンラインで開催してみてもどうかとなりました。今年度の幹事である6つの市では、月に一度になりますがオンラインでの打ち合わせが行われるようになっていきます。

障害がある方の在宅勤務も進んできており、オンライン化は障害者の就労にも寄与しています。エールを利用される方々にとって利便性が高い存在になることを願っています。



日本初の再生医療

夜空を眺めていると星空の中でゆっくりと一筋に、うごめく人工衛星の姿を見つけることが出来ました。

私たちは約8割を視覚から情報を得ており、視覚からの情報をもとに生活をしているとも言えます。視覚から得ている情報は、とても多いことから目の病気は日常生活にも大きな影響を及ぼします。目の病気で、水疱性角膜症(角膜が過剰

な水分でむくみ濁る病気)の治療としてIPS細胞(人工多能性幹細胞)を使った角膜細胞移植が来春に最初の移植として実施されることになりました。これまでは、ドナーから提供された角膜移植しか治療の手立てがなかったのですが、角膜自体の提供数が少ない上に移植をしても効果が出ないケースもあったようです。IPS細胞によって作られた角膜は、これまでの

コラム「福祉の時をつかむ」

角膜移植に比べ患者への負担が少なくといったメリットも大きいところです。

日本発のIPS細胞は、角膜細胞移植をはじめ、様々な再生医療を実現するために重要な役割を果たすと期待されています。これまで治療が難しいとされていた医療分野においても研究が進み、生活に支障を抱えていた方々にとって、輝く星のような存在になることを願います。

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

各事業所からのお知らせ



福祉作業所ひばり園

今年も利用者のみなさんが楽しみにしている七夕の季節がやってきました。梅雨ということもあり雨の日が続いていましたが、作業の合間に七夕飾りの準備をしました。みなさんどんな願いごとをするか悩みながら、思いを込めて短冊に願い事を書き、折り紙で作った様々な飾りとともに笹の葉に飾りました。美味しいものが食べたい、買い物に行きたい、好きなアイドルに会いたい等々、たくさんの願い事が書かれた短冊がひばり園の玄関を彩りました。みなさんの願い事がかないますように。

リサイクルショップくれよん

7/19(月)から夏に欠かせないTシャツ・帽子200円均一セールを予定しております。是非お立ち寄りください。5月からくれよんのメンバーの作業曜日を大幅に入れ替えました。初めて一緒に仕事をする方がいるなどで緊張している様子がありましたが、最近ではメンバーが変わって楽しいなどの声も多く聞かれるようになってきました。昨年の臨時休業明けから1年が経ち、通常時間営業(10:00~17:00)になっておりますのでみなさまのご来店を心よりお待ちしております。ご提供いただける品物についてはホームページまたはスタッフまでお問い合わせください。

●夏季休業8/7(土)~15(日)。



福祉作業所スマイル工房

Smile Caféでは夏季限定人気メニューの南国マンゴー(マンゴードリンク)販売中です。暑い夏にピッタリのトロピカルなマンゴードリンクは、ネクタータイプで飲みごたえ抜群です。涼しいカフェでパンといっしょに召し上がることもおすすめですが、お持ち帰りもできます。新型コロナウイルスの感染対策を行いおくつろぎいただける環境を整え、皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間:月曜~金曜日、午前9時~午後5時。各月の第一土曜日は開所。

※ご相談は予約をお願い致します。

資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

編集後記

新しい生活様式による新しい日常の中で、人に会う機会が減りました。直接会う機会は減りましたが、スマートフォンやパソコンの画面越しに会う機会は増えました。何時間も話すことはありませんが、顔を見ながら会話できるのはいいものだなと思うのです。私の親もスマートフォンを使うようになり、用事の内容によって画面越し通話するなど便利に使いこなしています。様々なツールがある現代。どう使いこなし、どう暮らすか、人間力が問われている気がしています。

各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局	☎042-578-0855
福祉作業所ひばり園	☎042-555-5512
福祉作業所スマイル工房	☎042-578-2723
リサイクルショップくれよん	☎042-578-2575
羽村市障害者就労支援センター エール	☎042-570-1233
指定特定相談支援事業所ゆい	☎042-555-5512